

骨髄・末梢血幹細胞提供者由来の遺伝学的情報を含む臨床的意義のある情報開示に関するご意思の確認について（Q&A）  
一部改訂について（2020/10/15）

項目	旧	新
Q 5.	<p>これまでに、事例があったか？ 何例くらいあったのか？</p> <p>A. 平成 28 年 12 月までに、42 例が報告されました。その内、骨髄移植後にドナー由来の骨髄細胞が患者の体内で増える際に生じたと考えられる体細胞変異は 16 例（骨髄異形成症候群，急性骨髄性白血病等）、ドナーが生来有していたと考えられるが、ドナーは健康な成人であることから疾患とは関係のない生殖細胞系列変異は 26 例（性染色体異常※1，均衡型構造異常※2，ミトコンドリア遺伝子異常※3 等）です。</p> <p>審査の結果、23 例（体細胞変異 11 例、生殖細胞系列変異 12 例）について開示の意義があると判断され、18 例（体細胞変異 8 例、生殖細胞系列変異 10 例）について専門医療機関等において面談が実施されました。残りの 5 例中、1 例はドナー居住地不明のため面談できず、もう 4 例は開示を辞退されました。</p> <p>○非血縁者間骨髄移植件数 20,237 件(2016.12 末現在)</p>	<p>これまでに、何例くらい事例があったのか？</p> <p>A. 2020 年 8 月末までに、68 例が報告されました。その内、造血幹細胞移植後にドナー由来の幹細胞が患者の体内で増える際に生じたと考えられる体細胞変異は 25 例（骨髄異形成症候群，急性骨髄性白血病等）、ドナーが生来有していたと考えられるが、ドナーは健康な成人であることから疾患とは関係のない生殖細胞系列変異は 43 例（性染色体異常※1，均衡型構造異常※2，ミトコンドリア遺伝子異常※3 等）です。</p> <p>審査の結果、35 例（体細胞変異 18 例、生殖細胞系列変異 17 例）について情報開示の意義があると判断されました。</p> <p>○非血縁者間造血幹細胞移植件数 24,632 件(2020.8 末現在)</p>